

歯学学位プログラム



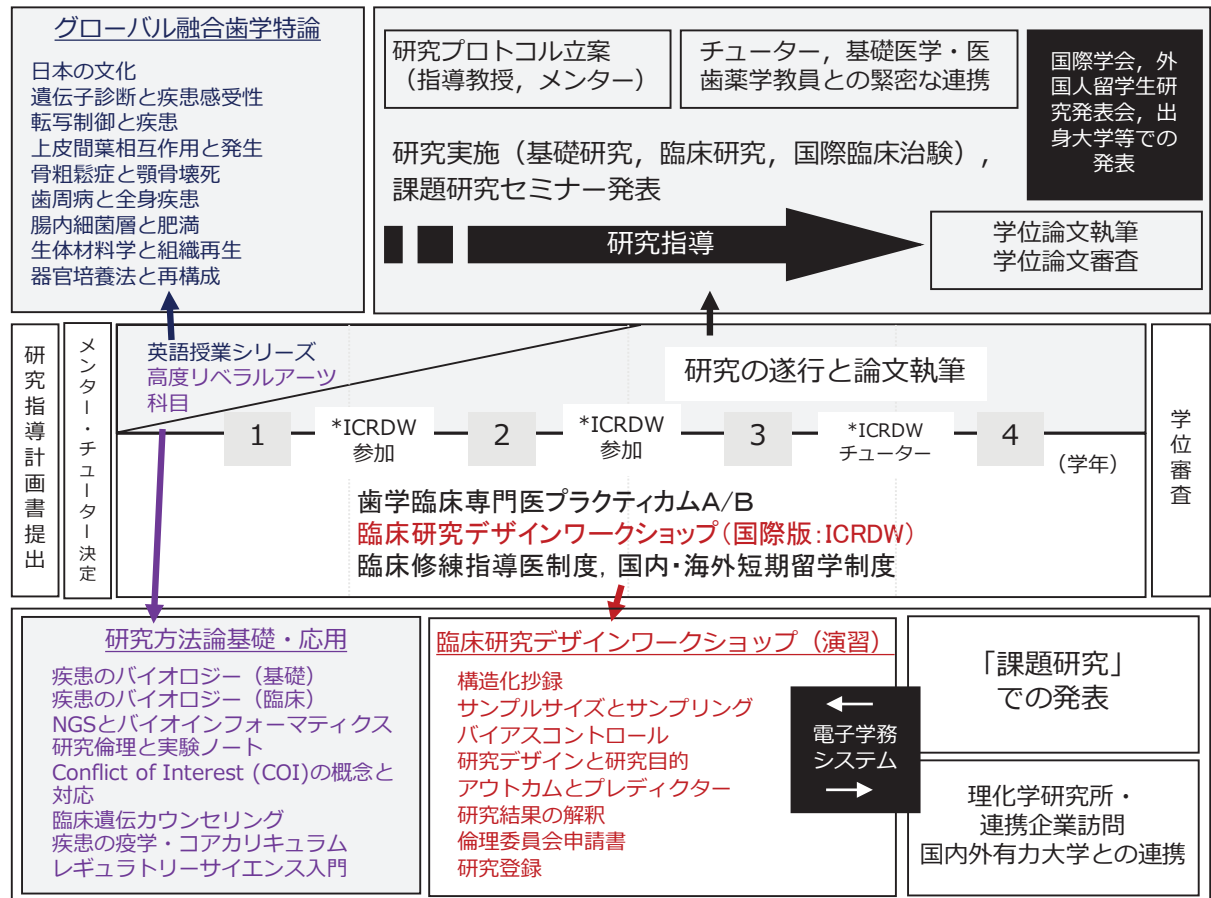
養成する人材像：医療や生命科学に対する幅広い学識と高度な研究遂行能力に加えて、医療・福祉・生活支援を統合した**SDGs歯科医療**を支える高度臨床専門医に必要な**臨床技術（スキル）**や**態度**を修得し、先進的医療技術開発に必要な**臨床エビデンス**を創り、**使うことのできる歯学先端医療人**、**大学教員**、**研究者**を輩出することを旨とする。また、学生が、自分のキャリアパスに合った特色ある授業科目の履修が可能となるよう、学位プログラムには**選択プログラム**を設定する。

●母体：平成19年度 文部科学省 組織的な大学院教育改革推進プログラム「医療系大学院高度臨床専門医養成コース」

●特色1：本プログラムの「臨床エビデンスを創り、使うことのできる先端医療人を輩出する」というミッションを完遂するために設けられた「臨床研究デザインワークショップ」は、14年にわたって全国公開され、臨床研究の初学者に基礎的な臨床研究遂行能力を涵養する役割を担っている。この科目は、海外にも移植され、国際臨床研究デザインワークショップとしてASEAN諸国に展開されている。

●特色2：「歯学臨床専門医プラクティカム」では、岡山大学病院の歯科系各診療科と提携して、高度臨床専門医に認定されるために必要な臨床技術や知識、態度を修得させる。

●特色ある事業：文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革」、国費外国人留学生を優先配置する特別プログラム「ASEAN中核医療系大学と連携する口腔器官再生・再建・統合生物学大学院特別コース」があり、世界中からの優秀な大学院生の獲得と日本人研究者の国際感覚の涵養に一役買っている。



※ 優秀な学生には、3年間で学位取得が可能な短期修了制度がある

履修モデル：歯学学位プログラム

学生の経歴：

歯学部卒業・歯科医師国家試験合格、臨床研修歯科医として大学病院に勤務中。

動機：高度歯科臨床専門医になりたい。知識、臨床技能や態度を身に付けて、臨床エビデンスを創り、使うことができる歯科医師になりたい。

必修科目

選択必修科目

学位：博士(歯学)

学位論文題目：要介護高齢者の腸内細菌叢と低体重および生命予後との関係

修了後の進路：出身分野の医員を経て、米国大学にポスドクとして留学。大学教員として帰国。

入学

修了

一般入試	1年次		2年次		3年次		4年次	
	【前期】	【後期】	【前期】	【後期】	【前期】	【後期】	【前期】	【後期】
専攻共通科目 (高度レベル アーツ科目)	研究方法论基礎 (2単位)				← 学生は、研究指導教員・副指導教員と相談し ← 学修とキャリア形成に必要な 講義 を選択履修する。			
	研究方法论応用 (2単位)							
専攻共通科目 (専門基礎科目)	医療データサイエンス (2単位)	← 学生は、研究指導教員・副指導教員と相談し 学修とキャリア形成に必要な 科目 を選択履修する。						
専門科目	臨床研究デザインワークショップ (2単位)							
	歯科臨床専門医プラクティカムA (実習先：歯科・口腔インプラント科部門 [高度補綴治療学]) (2単位)							
	歯科臨床専門医プラクティカムB (実習先：歯科・口腔インプラント科部門 [口腔リハビリテーション学]) (2単位)							
リサーチワーク	インプラント再生補綴学実習 (8単位) (主科目:インプラント再生補綴学)							
	インプラント再生補綴学演習 (4単位) (主科目:インプラント再生補綴学)							
	医歯薬学プレゼンテーション・プラクティス (2単位) (副科目:口腔微生物学)							
審査	1～2年次は 歯科臨床専門医プラクティカム 、 3～4年次は リサーチワーク に注力する。				課題研究 (4単位)		30単位取得	
					研究基礎力審査		学位論文 執筆・投稿	
							予備審査 本審査	

人材養成目標：歯学における幅広い学識と高度な研究能力を有し、地域医療から高度先進医療までを担う高度専門医療人、歯科医学・歯科医療に関する確かな教育研究能力を備えた大学教員、創造性豊かで優れた研究・開発能力を持ち学際的・国際的に活躍できる歯学・歯科医療分野の研究者などを養成する。